



ユナイテッド・アドバイザーズ株式会社	業種	学術研究・専門・技術サービス業
	事業所所在地	東京都渋谷区

被承継者		承継者			
	ジェイ・エイブラハム・ジャパン株式会社 代表取締役		ユナイテッド・アドバイザーズ株式会社 代表取締役		
	事業承継時年齢		44歳	事業承継時年齢	44歳
	業種		学術研究・専門・技術サービス業	業種	学術研究・専門・技術サービス業
	事業所所在地		東京都新宿区	事業所所在地	東京都渋谷区
	資本金		1,000千円	資本金	1,350千円
	従業員数		0名	従業員数	10名
事業承継前の主たる事業内容		事業承継前の主たる事業内容			
マーケティングに関する教育コンテンツの販売・コンサルティング		経営コンサルティング、ITツールの販売			
被承継者と承継者の関係		その他の親族外（友人）			

事業承継の経緯

事業承継の検討を開始した時期：2018年3月

被承継者	承継者
取り扱っていた商品のライセンス期間が終了し、次の商品が決まらない。	承継前の事業課題 RPAの将来性に気づき、いち早く自社で導入し販売を開始したが、一から営業をしなくてはいけなく苦戦していた。
売上が大きく下がってしまっていたことから、 ①解散も視野に検討していたが、 ②価値を見出してもらえたことで承継を決意	事業課題解決のために、 ①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選択したか？
Facebookのメッセージで提案を受けた	相手先との交渉開始のきっかけ 以前から今後の相談を受けていたのでFacebookメッセージで提案
銀行借入がなかったことから特段課題はなかった。	課題と克服 ①財務 大きな負債もなく、特段課題はなかった。
株式全部譲渡を行ったことから、特段調整が必要なものがなかった。	課題と克服 ②取引先との調整 顧客リストを保有しており、取引先との関係も良好であったことから大きな問題はなかった。
役員だけだったので、特段調整の障害はなかった。	課題と克服 ③社内調整 買収の理由を役員間で共有する際に強力な説得材料がなかったが、事業承継補助金を活用することで十分な納得感を得られた。
買い手が専門家であるため手続きは全てお願いできた。	課題と克服 ④諸手続き 税理士や司法書士が在籍しているので自社で全て対応

事業承継を行った時期：2018年10月

事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？	
	被承継者	承継者
■ 株式譲渡		
ユナイテッド・アドバイザーズ株式会社がジェイ・エイブラハム・ジャパン株式会社の全株式を譲渡。	追加の費用や手間がかからず、これ以上の損失発生を止められること。	子会社化することで、既存顧客アプローチができる点で決定。


新たな取組の目標

税理士・社労士等の士業向けRPAロボット導入支援事業の展開

新たな取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> ●近年の少子高齢化、働き方改革による残業削減、人手不足による人材獲得競争の激化により人材採用が難しい中、士業事務所でも人手不足が深刻化しています。 ●そこで、税理士や社会保険労務士等の士業に多い単純繰り返し作業をRPAロボットにより自動化することで生産性が大きく向上します。例えば、社会保険、労働保険の分野でも電子申請が進んでいますが、申請後に結果の確認や公文書のダウンロードなど時間がかかる手続きが多く、大量の単純定型作業が発生しています。このような業務はRPAの得意分野ですので、夜に稼働して朝には作業が終わっている状態にできます。 ●その他、給与計算の分野でも複雑な判断のいらぬ定型作業をRPAに代行させることで一気に生産性を上げることができます。具体的にどんな業務にRPAを活用すれば良いかわからないという声に応え、当社で実務に使えるテンプレートを作成し、そのテンプレートとともにRPAロボット本体を提供することで、具体的な業務のイメージがわかりやすくなることから、効果的にRPAを活用してもらうことができるようになります。 ●今後はセミナーや教育用の教材の開発などにも注力していきます。 	



地域経済やバリューチェーンへの貢献

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
RPAのメーカーの本社が自社の近くにあり、最新の情報やセミナーなどお互いに地域への貢献ができています。販売代理店として登録させて頂いているほか、士業向けの事例の作成や取材協力、各種補助金の情報交換など幅広くタイアップさせて頂いています。また、業務が拡大したことで従業員数を大きく増やすことができました。	<p style="text-align: center;">経費の主な使い道</p>  <p>人件費 店舗借入費（家賃） 外注費（ホームページ等制作費）</p>

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
---	---	---	---

事業承継補助金についての情報提供から、事業計画の作成支援、補助事業の進め方のアドバイスや各種書類作成についても包括的な支援を受けることができました。特に事業計画の立案段階から相談できたので、資料の整理で工数がかかるところ、要所を押さえたアドバイスをもらったことでスムーズに事業を進めることができました。

今後に向けて～次の目標

2018年から2021年に向けて	売上高
買収の効果もあり、早期に一定数の顧客基盤を確保でき大きな売上アップを実現できました。積極的に投資を行いながらニーズのヒアリングとテンプレートの開発を進めており、他社との連携のうえ、補助金・助成金を活用した生産性向上パッケージとして提案して行きます。	80 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
外部的な要因で売上が下がっていましたが、自分だけの力で何とかしようと模索していましたが、思ったような効果が出ませんでした。事業承継補助金のことは全く知りませんでしたが、おかげで本業に集中できる環境が整いました。早めに決断して良かったです。	事業承継補助金を活用することで、思い切った取り組みを実行することができました。自社で時間をかければできそうなことでも、時間を買うという意識で投資すると、成果も大きくなります。